

簡易版臨床能力評価表 Mini-CEX

実施日
場所

疾患・障害名
症例の複雑さ

年齢

性別

(易は運動器疾患のクリティカルパス対象症例など、難はハイリスク症例など)

	点数	
情報収集		現病歴で聞くべきことを聞いている(症状の部位、性状、程度、経過、状況、増悪寛解因子、随伴症状、症状に対する患者の対応 など)。必要に応じ、他の聞くべき項目を聞いている(生活状況、家族状況、嗜好 など)。
リハビリテーション評価		病態、障害に応じて評価すべき項目をチェックしている。信頼性・再現性の高い検査測定を実施している。患者に適切な説明を行い、評価中の不快感や遠慮に配慮している。
コミュニケーション能力		患者が話しやすい雰囲気を作っている。表情や姿勢など非言語コミュニケーションで不快感を与えていない。患者の解釈モデルや心理社会面の情報も引き出している。患者の理解度を確認している。
臨床判断 治療の組み立て		適切に病態を解釈し、治療プログラムを立案している。優先度の高い治療を選択している。ニードやデマンド、EBM と患者の思考(NBM)の両面を考慮して治療選択している。
プロフェッショナリズム		患者に対し敬意、思いやり、共感を示し信頼関係を形成している。患者の不快感、遠慮、守秘義務、個人情報に注意を払っている。自分にできないことは適切に他のスタッフに相談・依頼している。
治療技術 基本動作介助技術		効果の高い適切な手法で診療行為(運動療法等)を実施している。患者および介助者にとって安全・安楽な介助行為を実施している。
総合		一連のリハビリテーション介入を無駄が少なく迅速に行えている。評価者(指導担当)がいなくてもこの患者を一人でリハビリテーション介入できる。

3点がボーダーラインで 1, 2 点は具体的な改善が必要であることを意味します。
(5点:バッチリ! 4点:まあまあ 3点:なんとか 2 点:いまいち 1点:まだまだ)。
UC は未観察やコメントできないとき付けて下さい(Unable to comment)。

良かった点

改善すべき点

新人療法士と指導担当者が合意した学習内容

指導担当者氏名:

新人氏名: